

就労訓練を通じて若者の自立支援にご協力 いただいた団体を表彰しました！

本市では、若年無業やひきこもり経験のある若者が自立できるよう、企業や団体等の職場において、就労訓練を受け入れていただいています。これまで、様々な企業や団体等にご協力いただき、この取組も 11 年目（平成 18 年～）を迎えることができました。

平成 29 年 3 月には、平成 25～27 年度の 3 年間継続して就労訓練の受け入れにご協力いただきました「ワーカーズ・コレクティブ デポット南林間ブランチ」から南理事をお迎えし、こども青少年局長表彰の授与と懇談会を行いました。

対象団体及び表彰の基準について

- (1) 困難を抱える若者に対して、年 5 日以上継続して就労訓練を実施する市内又は市外の企業、団体若しくは個人事業主
 - (2) 3 年間、5 年間又は 10 年間連続して困難を抱える若者の就労訓練を実施した団体等（なお、今回の表彰は平成 27 年度までの期間が対象）
- ※3 年間はこども青少年局長表彰、5 年間又は 10 年間は市長表彰です。

「平成 28 年度 横浜市困難を抱える若者の就労訓練協力団体等表彰式及び懇談会」

【日 時】 平成 29 年 3 月 29 日（水）10：00～10：20

【会 場】 横浜市こども青少年局長室

【こども青少年局長表彰 受賞団体（1 団体）】

ワーカーズ・コレクティブ デポット南林間ブランチ 様



—こども青少年局長表彰授与—



写真<左：南理事、右：田中こども青少年局長>

一田中こども青少年局長

本日は、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。若者サポートステーションにおける就労訓練の実施にご協力いただき、大変ありがとうございます。

丁寧にご指導いただきながら、若者が現場で業務に従事させていただくことにより、社会経験の少ない若者が「働きたい」という意欲を持つきっかけとなる貴重な機会をご提供いただいていると思っております。

就労訓練の際の若者のご様子はいかがでしょう？

一ワーカーズ・コレクティブ デポット南林間ランチ 南理事

最初はどの若者も慣れていないし自信もありません。まず「失敗しても良いんだよ」「わからないことがあったら聞いてくれれば教えるからね」と声をかけています。それから、聞きやすい雰囲気作りを心掛けています。

就労訓練の内容は、初めは人とあまり顔を合わせなくても進めることができる作業として「野菜の袋詰め」をしていただいています。若者自身が慣れてきたタイミングを見極めて次の就労訓練作業に進むようにしています。

若者自身から、挨拶や会話ができると、次のステップにいけるなと思います。

一方で、受け入れる若者たちの細かいところもきちんと見るようにしています。丁寧な方、こだわりのある方、それぞれ個性があります。話をしながらその先の段階を提案しています。



—懇談会の様子①—

<奥左：よこはまサポートステーション細井さん、
奥右：南理事>

一田中こども青少年局長

3年間連続で若者の就労訓練を受け入れていただきましたが、若者たちはワーカーズの方々や組合員ワークさんの中に入ると、割とすぐ慣れるもののでしょうか？

一ワーカーズ・コレクティブ デポット南林間ランチ 南理事

人それぞれです。やはり最初は緊張していますので、話しかけに答えてくれるところからです。しばらくして慣れてくると、組合員ワークさんと共通の趣味があることがわかって、その話題で盛り上がったりしています。そういった日常的な会話からなじんでくるようです。

私たちが働く『生活クラブ南林間デポ』は店舗なので、在庫の品出し作業もあります。

組合員（お客さま）に品物のことをたずねられると困ってしまうこともあります。慣れてきた方だと「少々お待ちください」とこたえる対応もできます。それができるようになると次へつながっていくと思います。

一田中こども青少年局長

若者の受け入れに際して困ったことはありますか？



<左手前から時計まわりに：よこはま若者サポートステーション細井さん、南理事、
田中こども青少年局長、藤沼青少年部長、村上青少年育成課長>

一ワーカーズ・コレクティブ デポット南林間ランチ 南理事

訓練に来る若者はサポステで「この人なら訓練できそう」と見立てがあって送られてくるので、就労訓練を受け入れるにあたって困ったことは今までありません。

でも、朝起きるのが苦手な方がいて、連絡なしに遅刻や欠席をしてしまうことがあり、その際は、きちんと注意して「遅くなってもいいから、連絡を入れるように」と伝えています。

一藤沼青少年部長

よこはま若者サポートステーションでは、若者の就労訓練の受け入れ先を積極的に開拓されて探していただいていると聞いております。ありがとうございます。

デポット南林間ランチ様では若者の受け入れを決める時はどのように決めたのですか？

一ワーカーズ・コレクティブ デポット南林間ランチ 南理事

私たちワーカーズ・コレクティブでは、就労訓練の受け入れについて、メンバー全員で話し合い決めましたが、反対意見はありませんでした。受け入れの時期について、繁忙期は避けて受け入れに適した月にするなど話合っています。

全員で決めたことなのでスムーズに受け入れできています。それから、就労訓練の作業中の若者の様子を見て、その方の体調不良に気付いてそれとなく聞いたりするなど、主婦で女性目線というのでしょうか、よく見ているなと思います。

一田中こども青少年局長

無関心ではないこと、気にかけることは人間関係を築く上で大切なことだと思います。デポット南林間ランチのメンバー同士がそういう関係なのでしょうが、そこに若者たちを入れてくださっているのですね。

一ワーカーズ・コレクティブ デポット南林間ランチ 南理事

ひきこもり経験のある方は、働く以前に外に出て動くことや人と話すことに不安があるようです。「外に出ても何とかなる」と思っていただけの経験が大事だと思っています。

一よこはま若者サポートステーション 細井様

ちょっとしたことが本人の自信に繋がります。一歩ずつスモールステップを踏んでいくことで前に進んでいきます。就労訓練の後は若者の表情が変わります。話もよくするようになりますし、ポジティブな言葉が出てくるようになります。就労訓練（ジョブトレーニング）後、半数近くの若者が次のステップに進めており、サポステとしても引き続き取り組んでいきたいと考えています。

一田中こども青少年局長

若者にとって自立に向けたステップの場になっています。ぜひ長く取組を続けていただきたいと思っています。

一よこはま若者サポートステーション 細井様

デポット南林間ランチでの就労訓練の良いところは、お野菜があったり食生活やお買い物といった自分の生活にも身近な仕事なので、就労訓練の内容のイメージがつきやすく若者が取り組みやすいところです。また、バックヤードの仕事だけでなく対人の仕事も経験できることも良い点です。

一田中こども青少年局長

未来を支える若者の自立を支援するため、今後もこの取組を一層推進したいと考えています。今後とも温かい目で見守っていただきたいと思っています。本日は、お忙しいところありがとうございました。



<左から：田中こども青少年局長、南理事、よこはま若者サポートステーション細井さん>